

値上げの連鎖は構造的なもの~まずは家計管理をしっかりと

飲食料品を中心に、値上げの波が押し寄せています。その背景には、世界的な異常気象や天候不順、輸送コストの上昇、中国やインドなどの経済成長による世界的な需要の拡大など、複数の要因が絡まり合っているようです。

●ステルス値上げはもう限界

値上げの対象となる品目は、すでに数回にわたって値上げされている食用油が目立ちますが、マヨネーズやマーガリンも追随しています。小麦、砂糖、コーヒー豆などの国際相場も上がっているため、小麦粉をはじめパスタや菓子類、コーヒーなど、さまざまな商品に影響が及んでいます。

日本では価格を据え置き代わりに内容量を減らすという、ステルス値上げが横行していました。しかし、相次ぐ値上げは、もはやそのような策ではやっていけないところまで来たということなのでしょう。

食料だけではなく、電気料金やガス料金も値上がり傾向が続きます。いずれも暮らしに不可欠なものばかりですから、家計に与える影響は大きいと言わざるを得ません。

●自動車も値上げの動き

ドイツ自動車大手フォルクスワーゲンとアウディの日本法人は、原材料価格の高騰を理由に、日本で販売する新車の大半を10月1日から値上げすると発表しました。しかし、鉄やレアメタル(希少金属)の価格上昇に苦しんでいるのは、国内自動車メーカーも同様です。

トヨタ自動車と日本製鉄などの鉄鋼大手が、2021年度下半期(21年10月~22年3月)の自動車向け鋼材価格の引き上げで合意したとの報道がありました。トヨタと鉄鋼大手は半年ごとに価格交渉を実施しており、

国内の鋼材価格の指標となっており、そのため、他の自動車メーカーにも値上げが波及すると言われており、各社の収益が大幅に悪化すれば、新車価格値上げの動きが広がる可能性もあります。

●ウッドショックで住宅価格の上昇

世界的な建築需要の高まりによって輸入木材が高騰しました。日本では6割超を海外からの輸入に頼っていることから、「ウッドショック」という言葉も飛び交いました。木材の需給逼迫だけでなく、鋼材価格も高騰しており、住宅価格に転嫁する動きもあります。

今年の夏以降は落ち着くとみられていましたが、現在も国内製材、輸入製材ともに高値圏での取引が続いているようです。

●たばこの値上げは増税によるもの

たばこの価格も年々上昇しています。ただし、たばこの値上がりは増税によるものです。食料品などの生活必需品と異なり、嗜好品としての性格に着目して、国および地方の双方でたばこ税等を課しています。

税収は国税と地方税で、それぞれ年間1兆円、合計すると2兆円ですから、貴重な財源の1つです。高齢化に伴う社会保障費の増加などを背景にした税収確保の必要性によるもので、原材料の高騰とは異なる、別の意味での構造的要因と言えます。

●個々の家計に合わせた管理を

このようにみていくと、値上げの動きは一過性のもではなく、常態化することを覚悟したほうがよさそうです。一度、個々の家計に立ち返り、しっかりと支出管理をすることをお勧めします。とはいえ、家族構成も支出の傾向も千差万別。まずはわが家の支出構造がどうなっている

かを把握してください。

食費や光熱費は値上がりの影響をダイレクトに受ける支出ですが、家族構成によってその度合いは異なります。水道光熱費は、新型コロナで在宅時間が長くなったことにより膨れているかもしれませんが、一方で外出自粛によって縮小している支出もあるはずです。

食費や光熱費は、ある程度コントロールすることが可能な支出です。予算を決めて、その範囲でやりくりする習慣をつけてはどうでしょう。たとえば、調理の仕方を工夫して油脂製品の消費を抑える、使用頻度を減らすといったことです。

値上げにばかり目を向けるのではなく、スマホや電気料金のプランを見直すなど、継続的に支出を抑えることで値上がり分を吸収、もしくはそれ以上の効果が得られるかもしれません。ただし、使い方等によってお得かどうかは異なります。契約内容は十分に確認してください。

●買い負ける日本

一連の値上げには重要なシグナルが隠されています。日本の国力の低下です。気候変動等により、食料をはじめとする資源の奪い合いが懸念されていますが、賃金が伸びずGDPが低成長の日本は、国際的に買い負けているとの指摘があります。

モノだけではなく、人口減少による労働力不足は深刻です。たとえば、75歳以上人口の割合が増える中、介護人材の確保は喫緊の課題ですが、少子高齢化は中国をはじめアジアでも同時進行中。外国人労働者の処遇で見劣りするとみなされれば、日本はスルーされてしまいます。

どうやら個々の家計で何とかできるレベルを超える事態が起こっているようです。コロナ禍では日本の課題が噴出しましたが、コロナ以後、どのような日本をデザインするのが問われています。

(クルー 内藤真弓)